

種別	毎学期		年度末		その他	
	人員	%	人員	%	人員	%
小学校	A	68 48.6	70 50.0	2	1.4	
	B	66 47.1	72 51.4	2	1.4	
	C	64 45.7	75 53.6	1	0.7	
中学校	A	39 50.0	34 43.6	5	6.4	
	B	35 44.9	38 48.7	5	6.4	
	C	38 48.7	37 47.4	3	3.8	
高等学校	A	1 1.2	83 97.6	1	1.2	
	B	2 2.4	81 95.3	2	2.4	
	C	2 2.4	80 94.1	3	3.5	

中学校	A	10 12.8	60 76.9	8 10.3
	B	10 12.8	61 78.2	7 9.0
	C	11 14.1	57 73.1	10 12.8
高等学校	A	1 1.2	62 72.9	22 25.9
	B	1 1.2	55 64.7	29 34.1
	C		57 67.1	28 32.9

審議の開始は、小・中・高等学校とも1月から60～80%である。その他としては、2月、3月、毎学期と答えている。要は具体的な積重ねが根底になるだろう。

### ③ 目標の設定

目標設定のための検討と反省について、小・中学校は、毎学期と年度末で99%をしめている。その割合は、ほぼ同率で、わずかに年度末が高い。高等学校では、年度末がほとんどで、95%強になっている。その他については、2学期末(12月)、2月、年度初めと答えている。

このことは、年度内にも検討改善するのか、年度単位のみ改善する構想なのかによって異なると思われる。いずれがよいかは、学校種別による特質や、各学校の実態によるもので、こうでなければならぬとはいわれないだろうが、組織活動として、目標－実践－評価といった、サイクル過程を尊重しなければならぬと思われる。

### ② 審議の開始

種別	12月から		1月から		その他	
	人員	%	人員	%	人員	%
小学校	A	21 15.0	95 67.9	24 17.1		
	B	16 11.4	86 61.4	38 27.1		
中学校	C	12 8.6	84 60.0	44 31.4		

種別	3月		4月		その他	
	人員	%	人員	%	人員	%
小学校	A	72 51.4	64 45.7	4 2.9		
	B	75 53.6	62 44.3	3 2.1		
中学校	C	72 51.4	66 47.1	2 1.4		
中学校	A	37 47.4	39 50.0	2 2.6		
	B	43 55.1	35 44.9			
中学校	C	41 52.6	36 46.2	1 1.3		
高等学校	A	40 47.1	45 52.9			
	B	37 43.5	48 56.5			
高等学校	C	38 44.7	47 55.3			

設定の時期については、小・中・高等学校とも3月と4月であり、その比率はほぼ同率である。その他については2月であるが、その比率は3%弱である。設定にあたっては、方針の明確化と、その手続きが問題になるだろう。調和的な方向性があり、具体的に主体性があり、組織的にじゅうぶん機能を発揮できるような配慮が必要であろう。

### (2) 目標設定の主とした根拠はなにか。

(上段人員、下段%)

主とした根拠	小学校			中学校			高等学校		
	A	B	C	A	B	C	A	B	C
ア、教育関係法令を中心とする。	6	2	3	1	4	4		3	3
	4.3	1.4	2.1	1.3	5.1	5.1		3.5	3.5
イ、県や市町村の教育目標または要望を重視する。	33	31	37	20	22	20	26	24	25
	23.6	22.1	26.4	25.6	28.2	25.6	30.6	28.2	29.4
ウ、創立当時からの教育理念による。	2	3	2	3	2	1	5	5	4
	1.4	2.1	1.4	3.8	2.6	1.3	5.9	5.9	4.7